～～～今月の一言～～～

筆者名　植松

皆さんこんにちは。2号室の植松です。

4月になり段々暖かくなってきました。

年度が変わり、そして元号も変わるということで気持ちを新たに皆で頑張っていきたいですね。

さて，私にとって初めての「かわたれ」担当ということで少しばかり自己紹介をさせていただければと思います。

宮城県出身、平成5年生まれの25歳。

好きなことはバドミントンと映画鑑賞、苦手なことは早寝早起きです。

宮城県出身とお伝えしたときにいつも聞かれるのが「震災大丈夫だった？」の一言。

皆さんもご存じだと思いますが2011年3月11日に東日本大震災がありました。

当時高校二年生だった私は学校にいて、その揺れの大きさは今でも忘れられません。

当たり前のようにあった食事、電気、水が無くなり、連絡も通じない日々が続き避難所での生活も経験しました。

復旧し、形としてはこれまでと同じような生活に戻った現在も当たり前のように話をしていた人がいなかったりして「当たり前」が戻ってくることは今でもありません。

この経験の中で私がお伝えしたいのは一つだけです。

当たり前があることに感謝して欲しいということです。

皆さんが送っている当たり前の日々は誰かにとっての特別かもしれません。

そして当たり前があるのは多くの人が支えあっているからこそ生まれてくるものでもあります。

毎日でなくて構いません。ふとした時にでも一日を振り返り、感謝することでより充実した日々を過ごしてもらいたいなと思います。

今後も楽しいこと、悲しいこと、辛いこと、様々なことがあると思いますが共に協力し乗り越えていきましょう。

これからも宜しくお願い致します。